PCT

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 JSONY-610PCT	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/011023	国際出願日 (日.月.年) 27.07.2004	優先日 (日.月.年) 02.09.2003
出願人(氏名又は名称) ソニー株式会社		
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。		
この国際調査報告は、全部で2 ページである。 		
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。		
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。		
2. □ 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。		
3. 三 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。		
4. 発明の名称は 🛛 出願ノ	人が提出したものを承認する。	
□ 次に対	デすように国際調査機関が作成した。	
5. 要約は X 出願/	人が提出したものを承認する。	
国際語		47条(PCT規則38.2(b))の規定により 際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ る。
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>4</u> 図とする。 図 出願人が示したとおりである。		
±	願人は図を示さなかったので、国際調 録	監機関が選択した。
□ 本	図は発明の特徴を一層よく表しているの	りで、国際調査機関が選択した。
b 要約とともに公表される図はない。		

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (2004年1月)

発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl. ' G01R31/36 調査を行った分野 調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC)) Int. Cl. 7 G01R31/36 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 1922-1996年 日本国実用新案公報 日本国公開実用新案公報 1971-2004年 1996-2004年 日本国実用新案登録公報 日本国登録実用新案公報 1994-2004年 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) 関連すると認められる文献 引用文献の 関連する カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 JP 2000-92721 A (株式会社東芝) γ 1-3, 6-10,2000.03.31,全文,全図(ファミリーなし) 13, 14 4, 5, 11, 12, 15 A JP 7-131410 A (シントム株式会社) Y 1-3, 6-10,1995.05.19,全文,全図(ファミリーなし) 13, 14 Υ JP 60-66171 A (株式会社諏訪精工舎) 1-3, 6-10,1985.04.16,全文,全図(ファミリーなし) 13, 14 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。 * 引用文献のカテゴリー の日の後に公表された文献 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「丁」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 の理解のために引用するもの 以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 文献 (理由を付す) 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 16.11.2004 国際調査報告の発送日 国際調査を完了した日 26. 10. 2004 国際調査機関の名称及びあて先 特許庁審査官(権限のある職員) 2S 9805 日本国特許庁(ISA/JP) 武田知晋 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3215